

おお大勝利

平成 20 年度山東サッカー部報第 10 号 (7 月 1 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

東北一回戦の壁 越えられず

先日、6月27日(金)、秋田市^{やほせ}八橋陸上競技場にて東北高校選手権の一回戦が行われました。山形三位で東北大会に出場した山東の相手は岩手一位の不来方高校。八橋陸上競技場はNDスタジアムに勝るとも劣らない最高の「スタジアム」。選手のみならずスタッフのテンションも否が応にも上がる。

前半、思ったほど相手のプレッシャーがなく、相手も攻め込むが、山東にもチャンスのある展開。特に試合開始直後は不来方DFが硬く、フリーでシュートを打つ機会もしばしば。ただ山東ゴール前に上げられたロビングボールが直接ゴールに入ってしまう、残念な失点を与えてしまう。前半0-1で折り返す。ハーフタイムでは、「後半逆転できる！がんばろう」と呼びかけあいました。「勝てない相手ではない」というのが、前半を折り返した率直な感想。

しかし後半、不来方はギアチェンジし、前線の選手が突破、キープ力をいかに発揮し、ほぼ山東ゴールに押し込む展開。不来方は山東にある程度時間・余裕を与えてくれるも、それを生かせない山東の力不足といったらいいか、要所を締める不来方のうまさといったらいいか、ともかくも、攻めたいけどうまく攻められない歯がゆさを感じるばかり。はるばる秋田まで駆けつけてくれた多くのサポーター(保護者の皆様)のためにも一点を取りに行きますが、不来方ゴールは遠く、終わってみれば0-3の完敗。三年生の長くもあり短くもあつた旅に、幕が下りました。その日の夜、選手は花火やカードなどでリフレッシュし、顧問は秋田に宿泊した保護者の皆様と「残念会」を開きました。

次の日は東北大会の試合を観戦しました。富岡高校(福島2位)の落ち着いたボール回しと、西目(秋田1位)のパワフルかつ繊細な攻撃に、「引退した」3年生も目を見張っておりました。彼らの高校サッカーはこれでひとまず終わったとはいえ、サッカーに対する興味関心はまだまだ尽きていないことに、顧問としてうれしさを感じるとともに、それでももう終わってしまう現実に寂しさを覚えました。私は2年前に山東に来て、東北新人を含め東北大会に出場するのがこれで3度目ですが、いずれも一回戦敗退。東北の壁を早く越えたいものです。

保護者会の皆様からは激励金を頂戴し、また1年生保護者の皆様からは栄養ドリンクを差し入れていただきました。感謝申し上げます。また6月28日(土)の応援部隊のバス引率を佐藤花子マネと明石君のお母さんにいただきました。ありがとうございました。左に決算書が載っております。ご確認ください。

鬼嶋新体制 発足

6月30日(月)、東北大会で高校サッカー選手としての現役を引退する3年生の「引退式」が行われました。3年生一人ひとりが引退に当たっての感想を述べ、また後輩に思いを託しました。いよいよ山東サッカー部も(県総体後のミーティングで既に決まっております)新主将鬼嶋公也の代に切り替わります。本当に本当につらい練習もこなしてたくましくなった偉大な先輩たちに、追いつき追い越せるか、楽しみでもあり不安でもあります。皆様のご指導とご協力をお願いするばかりです。

新体制してすぐになりますが、県リーグ戦が今週末に、また選手権一次予選が今月中旬ごろに迫っております。引き続き応援よろしくお祈いします。

7月5日(土) 14:00~ VS 城北高校 天童第二ピッチ(人工芝) } 県リーグ
7月6日(日) 15:00~ VS 日大山形 天童第二ピッチ(人工芝) } 選手権二回戦
7月20日(日) 13:00~ VS 鶴岡東と長井高校の勝者 天童第三ピッチ(天然芝) ↗